

元町高架下（モトコー）にぎわいづくり実行委員会

総合評価（委員会所見）

昭和の雰囲気のある商店街という地域資源を活用し、神戸ビエンナーレ以来、アートプロジェクトの継続や若い店主が中心となって商店街づくりに取り組むとともに、フリーペーパーや活性化プロジェクトなどを通じて「元高・モトコー」の魅力の発信に努めた。この結果、若者を中心に来街者が増えるとともに、若い店主による若者向けの店が増え、空き店舗が減少するなど好循環が続いていることは評価できる。

一方では、商店街を取り巻く環境は、船員客が多数来街した時代とは根本的に異なっており、空き店舗の解消が引き続き課題となっている。また7区分あるうち、1～3まではにぎわいを感じられるが、4～7については、開店時間の短い店舗も多いなどの事情もあり、にぎわいを感じるに至っていないなど、区域によってにぎわいに差があることも課題である。

日本一といわれる高架下商店街という特性を活かして、今後は、「もう一つの神戸」として独特でレトロな雰囲気を残しつつ、ビエンナーレなど神戸市の事業と連携しながら商店街として一層にぎわいを創出していくことを期待したい。